



世界の動き身近な話題

中日新聞

かわら版さんぽみち編集局  
TEL 0776-28-2116・FAX 0776-28-8602  
Eメール osanpo@fukuikohō-c.co.jp日刊  
県民  
福井

ふくいの今がギョット

# 大人も子どもも楽しめる 体験特集

## 作って楽しい 飾ってウキウキ ハーバリウム制作体験

日本フラワーデザイナー協会1級フラワーデザイナーの河原(こうはら)ゆかりさんが主宰する大野市本町の「フラワーサークル花ごころ」では、定期アレンジメント教室などのほか、花や花材を使ったスポットでの制作体験が人気。中でも制作に熱中でき、完成の満足度も高いと人気なのが、ハーバリウムの制作体験だ。ハーバリウムは、ドライフラワー、アートフラワーなどの花材を透明のボトルに入れ、最後に専用オイルを流し込み、インテリアとして楽しむもの。水やりや手入れの手間なく花を長く楽しめるインテリアとして近年人気を獲得。色合いや見え方を工夫しながら自分好みに仕上げるのが楽しい。最後にボトルの口にリボンを巻いたり、マスキングテープなどで飾り付けをしたりして完成。オイルに入った花々は透明度と鮮やかさを増し、光に揺らめく様子がなんとも美しい。1回に5人程度まで体験可能で、家族連れにもお薦め。また、小さい子どもにはレジン体験も人気だ。いずれも河原さんが丁寧に教えてくれるので安心だ。



作りやすく、花が美しく見えるという高さ20cmの角型ボトルで作る。自分でインテリアとして楽しむほか、プレゼントにもお薦め

人気!

### 職人に教わる選べるワークショップ<sup>(体験例)</sup>

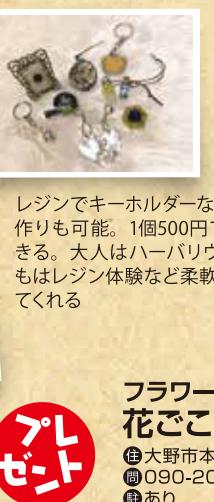


### ハーバリウム作り体験

【所要時間】1時間程度  
【体験料金】2,000円  
【予約方法】電話またはメール  
メールアドレス①kobarayukari@ezweb.ne.jp  
②kobarayukari@robal.jp  
【予約期限】希望日の1週間前くらいまで



左から使用する花材、マスキングテープ、リボンの数々。  
たくさんの素材が用意されており、選ぶのが楽しい



プレゼント

この看板が  
目印

フローラルアート  
花ごころ  
大野市本町7-5  
TEL 090-2037-3253  
あり



御菓子処 大次郎

高浜町青11-17 TEL 0770-72-0308  
午前7時~午後6時  
毎週火曜日午後、水曜  
ホームページで情報発信中

おさんぽこみちの  
気になるお店に  
行ってきました!

### 明治創業、 地元に根付く御菓子処

良質な水資源のある地に店を構えて1世紀以上、今や地元に欠かせない存在となっている御菓子処。取材中にもひっきり無しに客が訪れる人気店だ。創業以来作り続ける「六方焼」は、北海道十勝産の小豆を軟らかくあっさりと炊き上げた餡(あん)がたっぷり入った看板商品。甘すぎない上品な味が口の中を楽しませてくれる。また、高浜町を代表する山の名前が付いた「青葉山」も絶品。自家製のユズで作ったゆずジャムと北海道産の手亡豆の白餡を混ぜたゆず餡を柔らかいクッキー生地で包んだ。この他にも定番商品はもちろん、季節限定商品も人気だ。この時期にはくずまんじゅうやあんこ餅など、夏ならではの商品がお目見えする。

四代目店主は、「おいしいお菓子を提供するには何より材料が大切」と話し、今もなお良質な水が湧き出る高浜の地で変わらぬ味を提供し続けている。

中日新聞・日刊県民福井の購読のお申し込みは [0120-888-291](tel:0120-888-291) 午前9時~午後5時30分(平日)へ

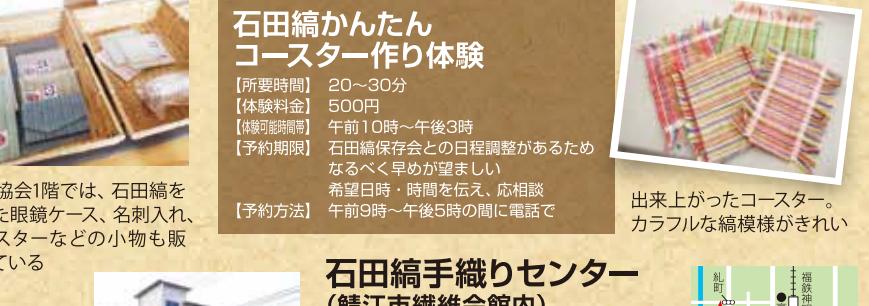
### 鯖江の伝統織 石田縞の手織り体験



古くから織維産業が盛んな福井県。中でも現在の鯖江市石田町で誕生した、木綿で織る縞模様が特長の石田縞(いしまじま)は、丈夫で汗を吸い、通気性に優れたことから、学校制服にも採用されるなど庶民に広く親しまれた。大正時代に力織機の登場などできまざまな布が大量生産されるようになり徐々に衰退。「幻の織物」と呼ばれたが、復元の機運が高まり、石田縞の作家たちにより保存活動が開始された。1970年代には「石田縞保存会」が結成され、現在も鯖江市織維協会と協働し、石田縞を広く後世に伝えている。

同協会内に置かれた石田縞手織りセンターは「石田縞保存会」の拠点となっているほか、石田縞の歴史をパネルなどでわかりやすく紹介。「手織り体験コーナー」では同協会事務局による石田縞の説明の後、手織り体験ができる。小さな手織り機を使って、経糸が通してある手織り機に縞糸となるリボンを往復させ、縞模様が美しいオリジナルのコースターを完成させる。石田縞保存会のメンバーが織り方を丁寧に指導してくれる

ので安心。小さい子どもからシニアまで、家族みんなで楽しめる体験だ。



**石田縞かんたんコースター作り体験**  
【所要時間】20~30分  
【体験料金】500円  
【体験期間】午前10時~午後3時  
【予約方法】石田縞保存会との日程調整があるためなるべく早めが望ましい  
希望日時・時間をお伝え、廊相談  
午前9時~午後5時の間に電話で

出来上がったコースター。  
カラフルな縞模様がきれい

**石田縞手織りセンター(鯖江市織維会館内)**  
【所要時間】午前9時~午後5時  
【体験料金】シングル5,280円  
ダブル5,830円  
【開催日】事前予約が必要  
7月22日(火)、25日(金)、28日(月)  
29日(火)、31日(木)  
8月1日(金)、3日(日)、5日(火)、7日(木)  
10日(日)、12日(火)、19日(火)、21日(木)  
23日(土)  
【時間】午前9時30分から午後1時30分から  
【持ち物】エプロン  
※状況によって別グループと合同で行う場合があります

さんぽみち

### 園芸愛好家、ガーデナーにも耳より モルタル造形ワークショップ<sup>®</sup>

彫刻のように形を作り着色することで、まるで本物の木や石、レンガのような質感や風合いを再現するモルタル造形。室内外の壁や床などの大がかりなものから、プランターや人形のような置物まで用途は広い。安东尼ークな雰囲気や物語の世界から飛び出してきたような空間を演出できると人気が高い。

土木建築型枠工事のほかモルタル造形工事、スタンブコンクリート工事、MPC工事などを手掛ける福井市「アドヴァンス近藤」代表の近藤靖至さんは、「国際バラとガーデニングショウで、ガーデン作りにマッチしたモルタル造形の素晴らしさに衝撃を受けた」と話し、その魅力をたくさん的人に知ってほしいとワークショップを開いている。

作るのは「とんがり屋根のお家」と「モルタルハウス」の2種類。乾燥が必要なため、造形と塗装・エイジングを2日に分けて行う。モルタルハウスは比較的簡単に作れるので小学生が対象。とんがり屋根のお家は大人対象だが、興味があれば小学校高学年からチャレンジ可能だそうだ。

**「とんがり屋根のお家」(1個)**  
※高さ 19~20cm  
【所要時間】モルタル塗り付けに約2.5時間  
別日に塗装・エイジング約2時間  
【体験料金】6,600円(材料費含)  
大人対象(小学校高学年可)

**「モルタルハウス」(3個)**  
※高さ 6.5~7.7cm  
【所要時間】モルタル塗り付けに約1時間  
別日に塗装約1時間  
【体験料金】2,500円(材料費含)  
小学生対象(大人も可、低学年は大人同伴)

**【開催日】事前予約が必要**  
7月22日(火)、25日(金)、28日(月)  
29日(火)、31日(木)  
8月1日(金)、3日(日)、5日(火)、7日(木)  
10日(日)、12日(火)、19日(火)、21日(木)  
23日(土)  
【時間】午前9時30分から午後1時30分から  
【持ち物】エプロン  
※状況によって別グループと合同で行う場合があります

**YASU.212 HP**  
**有限会社アドヴァンス近藤**  
①福井市河増町7-14  
②090-3767-0307(担当 近藤)  
③ホームページで情報発信中

QRコード

講師を務める近藤さん

モルタル造形は、ガーデンや多肉植物、インテリアにおすすめです。世界にひとつのあなただけの素敵な空間を演出してくれますよ

米松 貢吾館  
米松 愛実館  
日津川学校  
鯖江市立

さんぽみちの声でできています。「気になるお店」や「取扱いほしい人」など、最寄りの販売店またはさんぽみち編集局へ!

### 出張! 新聞ちぎり絵教室

県内の各所に伺うこの企画。  
今回は越前町の「手話サークルすいせん」と福井市の「いきいき集いの会」にお邪魔しました。  
みなさんの素敵なお作品を紹介します。



### in 越前町 「手話サークルすいせん」

宮川 恵美子さん



堀田 一美さん



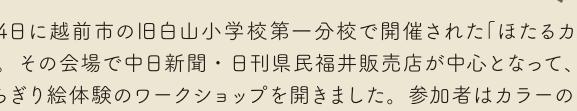
青山 田鶴子さん



堀田 和彦さん



北野 真弓さん



新聞ちぎり絵ワークショップ、  
大盛況でした

6月14日に越前市の旧白山小学校第一分校で開催された「ほたるカフェ」。その会場で中日新聞・日刊県民福井販売店が中心となって、新聞ちぎり絵体験のワークショップを開きました。参加者はカラーの新聞をちぎって下絵に貼り、すてきなポストカードに仕上げていました。